

平成 28 年度版 佐総高 学校 Q & A

長野県佐久平総合技術高等学校

1 学校生活全般について

Q1 学科・生徒数・男女比や学校行事は、どのようになっていますか。

浅間キャンパスでは農業科3クラスと工業科2クラス、白田キャンパスでは創造実践科（総合学科）2クラスの生徒が学習を行います。生徒数定員は、浅間キャンパスが600名（農業科360名、工業科240名）、白田キャンパスが240名、合計840名になります。この地域では最も大規模な学校です。

男女比は、農業科と創造実践科では半々で、工業科では男子がほとんどです。工業科には現在8名の女子生徒が意欲的に学んでいます。

学習を含めた学校生活は、入学した学科のあるキャンパスで3年間過ごします。

学校行事（入学式・強歩大会・文化祭・修学旅行・クラスマッチ・芸術鑑賞・演習林実習・研究発表会・卒業式）については、合同一斉による開催、又は共同企画によるキャンパス別開催を行い、全校生徒が同じ行事を体験することで1校としての仲間意識や一体感をつくるよう努めています。その他、学科の特色に応じた行事や研修など多彩です。

Q2 校則、制服は、どのようになっていますか。

基本的には、両キャンパス共通の校則を適用し、交通（原動機付き自転車通学許可、自動車免許取得等を含む）やアルバイトに関する規則など、高校生として必要な事項を定めています。

開校に伴い、新しい制服となりました。「新鮮さと躍動感に満ち、凛とした中にも上品さと若々しさが感じられる制服」をコンセプトにしています。佐久平の大地をイメージしたアースカラーを採用し、スタイリッシュな襟、ライトブラウンのステッチ、斜めカットのポケット、女子はナチュラルベージュのリボンとタータンチェックの巻き風スカートなど、デザインの的にもオリジナルで、佐総生に相応しいものとなっています。詳しくは本校ホームページでご覧いただくことができます。

Q3 どのような校風の学校を目指していますか。

3学科の生徒が学科の違いやキャンパスの距離を超えて、互いに切磋琢磨して高め合い、生徒一人一人が明るく楽しい学校生活を送ることができる学校にしたいと考えています。

Q4 校舎や設備は、どのようになっていますか。

浅間キャンパスにおいては、新しく工業棟が建設され、現代の工業技術に対応した新しい設備や機器が導入されています。農業科については、現状の施設・設備を利用していますが、平成28年度の学科改編に伴い、食品開発や植物工場に関連する施設・設備を新設する計画です。

白田キャンパスにおいては、創造実践科のための大講義室が完備され、ホームルーム教室等は現状の施設・設備を利用します。また、平成26年4月に小諸養護学校高等部のうすだ分教室が開設されており、施設・設備を共有して学んでいます。

Q5 文化祭は、どのように行いますか。

本年度の文化祭は、各キャンパスを会場にして、同一日に、夏休み明けに開催しました。次年度の時期・開催形式等については、本年度の反省をもとに変更される場合があります。なお、地域に開かれた各キャンパスづくりを推進するためにも、「一般公開」は両キャンパスで行う予定です。

2 学科・学習について

Q6 浅間キャンパスの農業科と工業科は、どのように授業が行われるのですか。

農業科は平成 28 年度入学生から学科が新しくなります。入学者選抜はくくり募集のため、1 年次は、全学科共通で農業学習の基礎・基本を学び、1 年次の 2 学期に、学びたい内容や将来の進路等に応じて学科・コースを選択し、2・3 年次は、食料マネジメント科（植物生産・動物生産コース）、生物サービス科（植物活用・動物活用コース）・食農クリエイト科（食品開発・環境共生コース）の 6 コースに分かれて専門的な学習をします。

工業科は、1 年次から機械システム科と電気情報科に分かれて学習を行い、1 年次の 2 学期に、学びたい内容や将来の進路等に応じて所属学科のコースを選択し、2・3 年次は、機械システム科では加工技術とメカトロニクス、電気情報科では電気技術と情報技術の各 2 コースに分かれて学習をします。

農業科も工業科も自分の興味・関心・適性・進路等の希望に合ったコースを選択し、専門的な知識や技術を学ぶことができます。

Q7 学科によって、授業を受ける場所（学校）が変わるのですか。

農業科と工業科の生徒は浅間キャンパスで、創造実践科の生徒は臼田キャンパスで授業を受けることとなります。ただし、キャンパス間連携の授業については、生徒がキャンパス間を移動して授業を受けることもあります。また、教員がキャンパス間を移動して授業を行うこともあります。

Q8 授業時間・授業時数についてはどうなるのですか。

1 時間の授業時間は、50 分間です。また、授業時数も、浅間キャンパスの農業科は週 3 1 時間、工業科は週 3 1 時間（1 日のみ 7 時間）、臼田キャンパスの創造実践科は週 3 0 時間です。

Q9 工業科の生徒が、農業について学習するのですか。

現在の産業は、農業や工業の枠を超え、相互に連携しています。例えば、今注目されている植物工場は、ソフト（栽培・管理）の部分にあたる農業技術とハード（制御・施設）の部分にあたる工業技術が融合し利用されています。そこで、これからの社会に対応していくためには、総合技術高校の特徴を生かして、学科の枠を超えて工業科の生徒が農業科の授業を、その反対に農業科の生徒が工業科の授業を学ぶことが必要であり、例えば 1 年次の科目「産業基礎」では、そのような学習があります。

Q10 普通教科の授業は、学科によって違うのですか。

それぞれの学科の特性や専門性に合わせた授業内容を行うため、同じ教科でも学科によって、教科書や副教材が異なり、学習内容も違う場合もあります。

例えば理科では、農業科は「生物」を重視し、工業科は「物理」を重視しています。

Q11 新校の学習内容は難しくなるのですか。

高校での学習は、中学校での学習の上に成り立っています。したがって、それぞれの普通科目や各学科の専門科目では新しい学習内容となりますが、中学生としての基礎学力を身に付けていれば大丈夫です。

入学者選抜受検に向けての家庭学習だけでなく、合格後も、高校での修学に堪え得る基礎学力の充実に努めてください。

Q12 農業科と工業科における普通教科と専門教科の割合はどのくらいですか。

3年間全体からみると、普通教科の授業と農業・工業の専門教科の授業の比率は、ほぼ2：1です。総合技術高校であっても、普通科目の学習は重要で、専門教科より普通教科の割合の方が多いです。

Q13 創造実践科は、どのような学科ですか。

「創造実践科」とは、臼田キャンパスにある総合学科の名称です。「普通科・農業科・工業科…」という分類のなかに「総合学科」は位置づけられており、総合学科のなかに「創造実践科」という学科が一つあります。ですから実際は「総合学科」＝「創造実践科」となり、総合学科としては県内で6番目に誕生しました。東信地区では、丸子修学館高校にも総合学科があります。

1年次は、普通科の学校とほぼ同じ科目を学びます。その中に「産業社会と人間」という特徴的な科目があります。学習内容としては、自分を見つめるとともに自分の生き方や将来について考え、また、人前で様々な発表を通してプレゼンテーション能力を養います。2年次の科目「キャリアミドル」は、1年次の「産業社会と人間」の継続的な内容となります。全員が就業体験を経験するために事前・事後学習をすることを目指します。さらに、3年次の科目「キャリアチャレンジ」では、そうした1・2年次での学びを完成させるために、具体的には個々の進路に応じた進路成就に向けた学びをサポートします。総合学科は、3年間の高校生活全体がキャリア教育の体系になっていることが特徴といえます。

また、創造実践科には、それぞれの進路に応じ大きく3つの系列（農業系の生物環境系列、工業系のデザイン系列、普通科的な科目から医療福祉までを選択できる文理医療系列）があり、「自己探究」という授業ですべての系列を全員が体験し、その中から一つ、自分に合った系列を選択し、2・3年次に学びを深めていきます。また自分の系列に関係なく、他の学びを自由に選択できる自由選択科目群を、2年で2単位・3年では8単位用意しています。

Q14 農業の学習は創造実践科でもできるのですか。また、生物環境系列はどのような内容ですか。

農業の学習の中心は浅間キャンパスの農業科で深く専門的に学びます。臼田キャンパスにも農業の施設設備があり生物環境系列を選択すると農業について広く一般的に学ぶことができます。3年間における農業に関する専門的な学習は、浅間キャンパスの農業科が35～39単位で深く専門的に、臼田キャンパスの生物環境系列が21～27単位です。

臼田キャンパスでは、1年次週2時間の「自己探究」という科目があり、3つの系列（農業系の生物環境系列、デザイン系列、文理医療系列）のすべてを体験的に学びます。学習体験の後、生物環境系列を選択すると、「自己探究」の1年次後半から、2年・3年と、農業の科目を学ぶことができます。2年次では「農業と環境」「生物活用」「環境と生物/測量」「総合実習」、3年次では「課題研究」「森林科学」「グリーンライフ」「フラワーデザイン」「食品製造」などがあります。具体的には身近な生物や地域資源の活用について学ぶことができます。たとえば、十二新田のオオアカウキクサ（学名はアゾラ）は臼田キャンパスで継続的に研究されてきた学習教材です。オオアカウキクサを乾燥した肥料にして育てたトマトや地元産のプルーン、イチゴなどを加工して、商品化し、販売する、食品加工も行います。サツマイモや落花生栽培などを通して地元の保育園児や小学生との交流する授業もあり、人と環境にやさしい人材を育てたいと考えています。

Q15 文理医療系列を選択した場合の学習は、どのような内容ですか。

この系列は幅が広く、文系理系といった科目の分け方で、普通科目だけを選択すると、普通科の学校とかわらない学びの内容となります。また、この系列では、医療福祉系の科目が選択できるように設定してあります。1年次に全員で学ぶ「自己探究」という科目では、医療福祉の現場で活躍

されている方を講師としてお招きして、例えば地元の佐久総合病院の方のお話を通して、看護師、理学療法士、作業療法士や、社会福祉施設での介護福祉士、社会福祉士などの仕事の内容について、実情まで含めて理解を深めることができます。医療や福祉は、ともに人と接し人にかかわる仕事のため、コミュニケーション力やマインド（心）を育てるトレーニングも体験します。2年次では、文理医療系列の学びは普通科目中心となりますが、それ以外にも「福祉医療と職業」「社会福祉基礎」を選択することができます。3年次でも同様に自由選択科目群から「現代の福祉医療」「介護福祉基礎」などを選択して学ぶことができます。特に看護師をめざす生徒のために、主に高等看護学校や大学看護学部などに対応した、レベルの高い科目を開講したりしています。専門的な仕事への理解と目的意識を高めるなかで、進学に対応した科目群を用意し、学力をしっかりと身につけて上級学校への進学する生徒を支援したいと考えています。臼田キャンパスは、医療のまち臼田にあって地域へ有意な人材を育てたいと考えています。ただし、看護師など医療福祉の資格を高校在学中に取得することはできません。あくまでも基礎となる知識やマインドを学ぶことが中心です。

Q16 デザイン系列の学習はどのような内容ですか。

ものづくりの視点からデザインする力を育てるのがデザイン系列です。デザイン系列は、単に好きな絵を描くのではなく、人にやさしい「製品」としてのものづくりに必要なデザインの基本的知識や技術を学びます。デッサンの基本、色彩、レタリングから始まり、2年次では「工業技術基礎」「デザイン製図」「デザイン材料」「デザイン技術」を系列の授業で学びます。3年次には「工業数理基礎」「デザイン製図」「デザイン史」「課題研究」などを学びます。自由選択科目群にも「デッサン・グラフィック」「視覚情報」「クラフトデザイン」などを用意しており、選択して学ぶことができます。多様な材料から、木材加工、ステンドグラス、グラフィック、テキスタイルなどの分野を選択して製品づくりを専門的に学びます。出来上がった製品としての個々の作品は展示会などで公開します。

近年では生徒の作品が、近隣の公園や企業の様々なデザインに採用されたり、独創的な絵本の作成で全国デザイン選手権に出場したりするなど活躍が目立っています。デザインを学ぶ中で、さらに大学や専門学校などでより専門的に学ぼうと進学する生徒がいます。

Q17 各学科では、どのような資格や検定に取り組んでいますか。

農業科・工業科・実践創造科で取得可能な専門的な資格や検定は以下のとおりです。また、普通科目（国語、英語）では日本漢字能力検定や実用英語検定も取得可能です。

農業科	コース	学年	主催	資格・検定
生物サービス科	動物活用	2	(社)日本愛玩動物協会	愛玩動物飼養管理士準2級・準2級
生物サービス科	動物活用	3	(社)日本実験動物協会	実験動物2級技術者
生物サービス科	生物活用	2,3	日本バイオ技術教育学会	初級バイオ技術者
食農クリエイト科	食品開発	3	(財)長野県食品衛生協会	食品衛生責任者
農業科共通	共通	1	佐久平総合技術高等学校農業クラブ	農業クラブ検定(初級)
	各コース	2	佐久平総合技術高等学校農業クラブ	農業クラブ検定(中級)
	各コース	全学年	長野県学校農業クラブ連盟	農業クラブ検定(上級)
	共通	3	日本学校農業クラブ連盟	農業クラブ検定(特級)
	共通	1,2	(社)全国経理教育協会	文書処理能力検定1級～4級(Word・Excel)
	共通	2,3	(社)全国経理教育協会	電卓検定段位
	共通	2,3	(社)全国経理教育協会	電卓検定1級～4級

農業科	コース	学年	主催	資格・検定
	共通	2,3	(社)全国経理教育協会	簿記検定 3級・4級
	共通	全学年	パソコン検定協会	PC 検定(パソコン～1級)
	共通		厚生労働省	毒物劇物取り扱い者
	共通		総務省(消防試験研究センター)	危険物取扱者 丙種
	共通		総務省(消防試験研究センター)	危険物取扱者 乙種(1～6類)
	共通		日本農業技術検定協会	日本農業技術検定
	共通		(財)自然環境研究センター	生物分類技能検定
	共通		厚生労働省	小型ボイラー取扱技能講習
	共通	1,2	一般財団法人日本規格協会品質管理 検定センター	品質管理(QC)検定(4級、3級)
	共通	2,3	中部技能教習センター	クレーン運転業務特別教育
	共通	2,3	中部技能教習センター	小型移動式クレーン
	共通	3	長野県溶接協会	ガス溶接技能教習
	共通	3	中部技能教習センター	車両系建機技能講習
	共通	3	中部技能教習センター	高所作業車技能講習
	共通	2,3	中部技能教習センター	小型車両系特別教育
	共通	3	中部技能教習センター	玉掛技能講習
	共通	3	長野県溶接協会	アーク溶接特別教育
	共通	2,3	中部技能教習センター	ローラー特別教育
	共通	3	中部技能教習センター	フォークリフト技能
	共通	2,3	コマツ教習センター	伐木特別教育
	共通	1,2,3	コマツ教習センター	刈払機安全教育
	共通	1,2,3	中部技能教習センター	研削砥石特別教育

工業科	コース	学年	主催	資格・検定(級位)
機械システム科	共通	2	長野県溶接協会	ガス溶接技能講習
	共通	2	長野県溶接協会	アーク溶接特別教育
	共通	1	全国工業高等学校長協会	基礎製図検定
	共通	2,3	全国工業高等学校長協会	機械製図検定
	共通	全学年	中央職業能力開発協会	機械検査作業(2級・3級)
	共通	全学年	中央職業能力開発協会	普通旋盤作業(2級・3級)
	共通	全学年	中央職業能力開発協会	フライス盤作業(2級・3級)
	ロボット	全学年	中央職業能力開発協会	シーケンス作業(3級)
電気情報科	共通	全学年	電気技術者試験センター	第二種電気工事士試験
	電気技術	3	電気技術者試験センター	第一種電気工事士試験
	電気技術	3	電気技術者試験センター	第三種電気主任技術者試験
	情報技術	全学年	情報処理技術者試験センター	ITパスポート試験
	情報技術	2,3	全国工業高等学校長協会	情報技術検定(1級)
工業科共通		全学年	全国工業高等学校長協会	計算技術検定(2級・3級)
		全学年	全国工業高等学校長協会	情報技術検定(2級・3級)
		1,2	一般財団法人日本規格協会品質管理	品質管理(QC)検定(4級・3級)

工業科	コース	学年	主催	資格・検定(級位)
			検定センター	
	共通	2,3	中部技能教習センター	クレーン運転業務特別教育
	共通	2,3	中部技能教習センター	小型移動式クレーン
	共通	3	長野県溶接協会	ガス溶接技能教習
	共通	3	中部技能教習センター	車両系建機技能講習
	共通	3	中部技能教習センター	高所作業車技能講習
	共通	2,3	中部技能教習センター	小型車両系特別教育
	共通	3	中部技能教習センター	玉掛技能講習
	共通	3	長野県溶接協会	アーク溶接特別教育
	共通	2,3	中部技能教習センター	ローラー特別教育
	共通	3	中部技能教習センター	フォークリフト技能
	共通	2,3	コマツ教習センター	伐木特別教育
	共通	1,2,3	コマツ教習センター	刈払機安全教育
	共通	1,2,3	中部技能教習センター	研削砥石特別教育

総合学科	系列	学年	主催	資格・検定(級位)
創造実践科	生物環境	2	一般社団法人 自然環境研究センター	生物分類技能検定
	"	3	長野県職業能力開発協会	造園技能検定 3 級
	デザイン	2	文部科学省後援 公益社団法人国際文化カレッジ	レタリング技能検定 4 級
	"	3	文部科学省後援 公益社団法人国際文化カレッジ	レタリング技能検定 3 級
	"	2	文部科学省後援 一般財団法人中央校学校生涯学習センター	トレス技能検定 3 級
創造実践科共通	共通	全学年	内閣府認定 公益社団法人	色彩検定 2・3 級
	共通	全学年	日本情報処理検定協会	日本語ワープロ検定 4 級・3 級・2 級
	共通	2,3	中部技能教習センター	クレーン運転業務特別教育
	共通	2,3	中部技能教習センター	小型移動式クレーン
	共通	3	長野県溶接協会	ガス溶接技能教習
	共通	3	中部技能教習センター	車両系建機技能講習
	共通	3	中部技能教習センター	高所作業車技能講習
	共通	2,3	中部技能教習センター	小型車両系特別教育
	共通	3	中部技能教習センター	玉掛技能講習
	共通	3	長野県溶接協会	アーク溶接特別教育
	共通	2,3	中部技能教習センター	ローラー特別教育
	共通	3	中部技能教習センター	フォークリフト技能
	共通	2,3	コマツ教習センター	伐木特別教育
	共通	1,2,3	コマツ教習センター	刈払機安全教育
	共通	1,2,3	中部技能教習センター	研削砥石特別教育

3 クラブ活動について

Q18 どのようなクラブがあるのですか。

*○印のキャンパスにクラブ顧問がいます（両キャンパス全てのクラブに顧問を配置することはできません）。

【運動部】

クラブ	浅間キャンパス	白田キャンパス
野球	○	○
サッカー	○	○
陸上	○	○
男子ソフトテニス	○	○
女子ソフトテニス	○	○
男子テニス	○	
水泳	○	
男子バスケットボール	○	○
女子バスケットボール	○	○
男子バレーボール	○	
ハンドボール	○	
卓球	○	○
バドミントン	○	○
剣道	○	
弓道	○	○
レスリング	○	
ボクシング		○

【文化部】

クラブ	浅間キャンパス	白田キャンパス
美術		○
演劇		○
吹奏楽	○	○
茶華道	○	○
書道	○	○
囲碁・将棋	○	
ボランティア		○
文芸	○	○
パソコン		○
家庭科	○	○
軽音楽		○

【専門部】

クラブ	浅間キャンパス	白田キャンパス
農業経営	○	
作物	○	
測量	○	
加工	○	
園芸	○	
畜産	○	
国際研究	○	
総合工学	○	
農林業研究		○
工芸		○
チャレンジショップ	○	○

Q19 男女の表記のある部とない部がありますが、どういうことですか。

男女の表記があるものは、男女別のクラブがあり男女別に活動します。男女一方しかないクラブもあります。また、男女の表記がないクラブは男女問わず入部できますが、男女混合で活動することとなります。

Q20 入学を希望するキャンパスのクラブに○印がありませんが、もう一方のキャンパスには○印があります。そのようなクラブに入部できますか。

入部できます。例えば臼田キャンパスの生徒がハンドボール部に、逆に浅間キャンパスの生徒が演劇部に入部することは可能です。ただし顧問はいませんので、活動はもう一方のキャンパスの顧問の指示に従って、在籍するキャンパスで活動することになります。

Q21 顧問のいないキャンパスのクラブ（○印のないクラブ）は、どのような活動をするのですか。

平日は、もう一方のキャンパスのクラブ顧問の指示に従って、在籍するキャンパスで活動します。ただし、ケガや事故等の防止のため、クラブによっては練習や活動に制限をする場合もあります。また、休日はどちらかのキャンパスで、顧問のもとに合同で活動する予定です。

Q22 クラブの練習場所はどのようになっていますか。

原則として平日は、各キャンパスで練習を行います。休日は、練習計画に従ってどちらかのキャンパスで合同練習を行う予定です。

また、浅間キャンパスの運動系クラブは、グラウンドや大小2つの体育館を交代して使用することになります。

Q23 練習の際のキャンパス間の移動方法はどのようになりますか。

平日も休日も学校では移動手段を用意できませんので、各自の責任で移動してもらうことを原則としています。したがって、公共交通機関での移動や保護者の送迎などをお願いすることになります。また、クラブ活動を目的にしたバイクの免許取得は認められません。

しかし、現在、クラブ用マイクロバス1台を所有しており、クラブ活動の繁忙期には、週2日程度の頻度で、放課後にキャンパス間を往復させ、生徒の移動に役立てています。

Q24 平日は合同練習を行わないのですか。

平日は、それぞれ在籍するキャンパスで練習することを原則としていますが、団体競技のクラブでは、合同練習を行っている場合もあります。

Q25 クラブには必ず入らなければいけないのですか。

必ず入らなければいけないということはありませんが、目的を持って充実した高校生活を過ごすため、クラブ活動を通して技能を磨くため、卒業後の進路の活かすためにも、何らかのクラブに所属して3年間活動することが望ましいと考えます。

4 進路について

Q26 総合技術高校での学習の特色は何ですか。

総合技術高校は、高校入試の時に農業科（くくり）・工業科（機械システム科・電気情報科）・創造実践科のいずれの学科に入学するかを決めて受検し、2年次からは各コースを選択して専門学習を深めるとともに、総合技術高校の特色である「学科の枠を超えた学習」（他の学科の生徒と同じ共通科目を履修することなど）も行います。

創造実践科は、普通科目と専門科目の多様な選択科目の中から自分が選んだ科目を中心に学ぶところに特色があります。1年次は普通科とほぼ同様のカリキュラムですが、入学後、自分の将来の生き方や進路についてじっくりと考えることを通して、2年次以降の選択科目を決定し、2・3年次はその科目を中心に学びます。

Q27 卒業後の進路はどのような進路先が考えられるのですか。

就職では、どの学科も地元企業への就職が中心になると考えられます。進学については、各学科・コースの専門性を活かして、国公立を含む4年制大学をはじめ、短大、専門学校等幅広い進学先が考えられます。総合技術高校として、専門性や研究実績等を活かした推薦入試やAO入試等を活用し、国公立大学を含む4年制大学へ進学することも十分可能です。

Q28 進路を実現するための学習支援はありますか。

進路の自己実現は、高校3年間の学習活動の成績や特別活動等に打ち込んだ実績等が最も重要であることは言うまでもありませんが、学校としても個人の学力に応じた習熟度授業、進学者向けの補習授業、専門科目と関連した資格取得等の支援をしています。

Q29 農業や工業の専門の学習とは関係ない進路に進むことができますか。

学習内容と異なる職種へ就職したり、専門分野外へ進学したりすることはもちろんできますが、履修分野以外のところへ進学する場合は、かなり努力が必要になることもあります。

5 その他

Q30 学校にかかる費用はどの程度になりますか。

1年生は入学時の諸手続きと同時期に、2・3年生は年度初めに一括納入していただきます。

なお、教材費等は、学科・コースによって異なりますので、1人ひとり違ってきます。また、資格取得では受験料や受講費用が必要となります。

参考までに、平成27年度の学校徴集金額は以下のとおりです。

<農業科・工業科>

学年	科	PTA 会費	生徒 会費	クラブ 振興費 等	芸術 鑑賞費	学年 クラス費	教材費 実習費 等 体育着	同窓会	合計
1年	農業	7,500	5,000	5,500	2,000	17,600	59,690	10,000	107,290
	機械システム	7,500	5,000	5,500	2,000	17,600	71,883	10,000	119,483
	電気情報	7,500	5,000	5,500	2,000	17,600	74,088	10,000	121,688
2年	農業	7,500	5,000	5,500	2,000	13,000	21,270~32,960	4,000	54,270~65,960
	機械システム	7,500	5,000	5,500	2,000	13,000	43,470	0	76,470
	電気情報	7,500	5,000	5,500	2,000	13,000	25,470	0	58,470
3年	農業	7,500	5,000	5,500	2,000	19,000	12,430~17,020	11,000	62,430~67,020
	機械システム	7,500	5,000	5,500	2,000	11,000	13,870	5,000	49,870
	電気情報	7,500	5,000	5,500	2,000	11,000	16,870	5,000	52,870

※農業科の2・3年生の教材費は、選択するコースによって異なる

※その他費用

入学時：制服代金29,910~（男女・予備服の購入等により異なる）、教科書代金11,029

1年次教科書代：農業科11,029 機械システム科23,497 電気情報科18,236

2年次教科書代：農業科5,820~ 機械システム科9,231 電気情報科9,008~

3年次教科書代：農業科1,865~ 機械システム科5,521~ 電気情報科3,826~

2年次修学旅行費用：11万円以内

<創造実践科>

学年	科	PTA 会費	生徒 会費	クラブ 振興費 等	芸術 鑑賞費	学年 クラス費	教材費 実習費 等 体育着	同窓会	合計
1年	創造実践科	7,500	5,000	5,500	2,000	17,600	71,240	10,000	118,840
2年	創造実践科	7,500	5,000	5,500	2,000	0	0	0	20,000
3年	創造実践科	7,500	5,000	5,500	2,000	0	0	5,000	25,000

※その他費用

入学時：制服代金29,910~（男女・予備服の購入等により異なる）、教科書代金11,029

2年次修学旅行費用：11万円以内

Q31 通学にスクールバスは用意されていますか。

通学のためのスクールバスはありません。

参考までに、現在の通学状況（平成27年5月）は、以下のとおりです。

浅間C … 公共交通機関（約41%）、自転車（約39%）、バイク許可（2%）、徒歩（約11%）

白田C … 公共交通機関（約7%）、自転車（約55%）、バイク許可（0%）、徒歩（約11%）

Q32 学校行事の際、キャンパス間の移動にかかる交通費（電車賃等）の補助はありますか。

本人や家庭にご負担をお掛けいたしますが、移動に係る費用については「自己負担」が基本となります。また、土日のクラブ活動等では、ご家庭の送迎が必要になる場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、入学式・卒業式等の重要な行事については、借上げバスを学校で手配し、利用しています。

Q33 路線バスが少なく高校への通学が不便です。バイクでの通学は許可していますか。

佐久平の地理的条件や公共交通の状況を考慮して、学校で充分審査したのち、原付バイクでの通学を許可しています。ただし、免許取得は1学年末、通学は2年次以降となります。1年次でのバイク通学は許可しておりません。具体的に知りたい場合は、お問い合わせください。

Q34 緊急時の連絡体制は、どのようになっていますか。

緊急時に本人や家庭に連絡できる携帯電話（スマートフォンを含む）を利用した緊急時メール配信システムを導入し、大雨や大雪、台風等の気象条件による交通障害や学校（学年・学級・クラブを含む）からの連絡等に役立てています。

【お問合せ先】

長野県佐久平総合技術高等学校

- | | | |
|--------------|-------------|-----------------|
| ●学校生活全般について | 浅間キャンパス・教 頭 | 電話 0267-67-4010 |
| | 臼田キャンパス・副校長 | 電話 0267-82-2035 |
| ●農業科・工業科について | 浅間キャンパス・教 頭 | 電話 0267-67-4010 |
| ●創造実践科について | 臼田キャンパス・副校長 | 電話 0267-82-2035 |